

戦略

1

礼節、主体性、協働性、リーダーシップの体得

戦略達成のストーリー

文化祭や体育祭などの行事をはじめ、クラブ、生徒会などの活動推進を、生徒の主体的な運営に任せることで満足度を高めるとともに、礼節、主体性、協働性、リーダーシップを体得していく。教職員はあくまでアドバイザーの立場で関わる。

現在の姿	
[学校生活] 生徒が主体性や協調性の成長を遂げるために、環境の変化に左右されない安全・安心で充実した学校生活(学校行事や部活動など)を提供し続けていく必要がある。生徒が学校諸活動へ主体的に参加し、高い満足度を獲得できるように、各種活動の活性化策を断続的に提供していく必要がある。	
文化祭来場者 8,500 人	部活動満足度 73.4%
現在の指標	
学校行事満足度 80.6%	部活動加入率 84%



達成後の姿

[学校生活] 生徒自身が学校行事や部活動の運営に自ら関わることで、礼節、主体性、協働性、リーダーシップの伸長を自覚できている。本校の生徒が基礎学力のみならず、優れた人間性を兼ね備えているという評価を得られるようになっている。

評価指標

文化祭来場者 10,000 人	部活動満足度 80%	海外語学研修参加希望者 300 人
学校行事満足度 90%	部活動加入率 90%	

戦略

2

高い英語力の獲得による、大学進学実績と学校生活の満足度向上

戦略達成のストーリー

英検受験を奨励するとともに、効果的な講習や学習法を提供し合格率を飛躍的に伸ばしていく。講習内容は実施後アンケートなどを通じて改善を重ね質の向上を図る。また、個人差があるスピーキングやライティングの講座を独自に開講するなど、より満足度の高い継続的な指導を行い、グローバル社会で活躍する人材の育成につなげていく。

現在の姿	
[教育の質] 本校が求める生徒像について、中学生や保護者などが正しく把握するため、各種制度を介した訴求を強化していく必要がある。	
[生徒支援] 生徒が高い英語力を獲得するため、低年次から英検取得を支援するだけでなく、上位級合格や学習進度に応じた継続的な独自指導が必要になっている。	
現在の指標	
卒業時英検2級取得率 87%	大学合格実績 国学院大学 180 人
卒業時英検準1級取得者 30 人	GMARCH 388 人
卒業時英検準1級取得者 30 人	早慶上理 86 人
卒業時英検準1級取得者 30 人	国公立 11 人



達成後の姿

[教育の質] 本校が求める生徒像について認知と理解が進み、英語力の基礎を固めた中学生に選ばれる高校として評価を受けている。英検受験の推奨と支援が生徒の堅実な英語力を向上させ、多くの生徒が高校生活に高い満足感を抱いている。生徒の英検2級以上取得率が100%に近づいており、個々の生徒が目標達成を実感できている。高めた英語力が生徒の希望する進路実現に大きな役割を果たしている。

評価指標

卒業時英検2級取得率 95%	大学合格実績 国学院大学 210 人	学校推薦型入試による大学進学者の英検2級取得率 100%
卒業時英検準1級以上取得者 55 人以上	GMARCH 500 人	学習面満足度 80%

戦略

3

国内・国外の各種研修体制の発展

戦略達成のストーリー

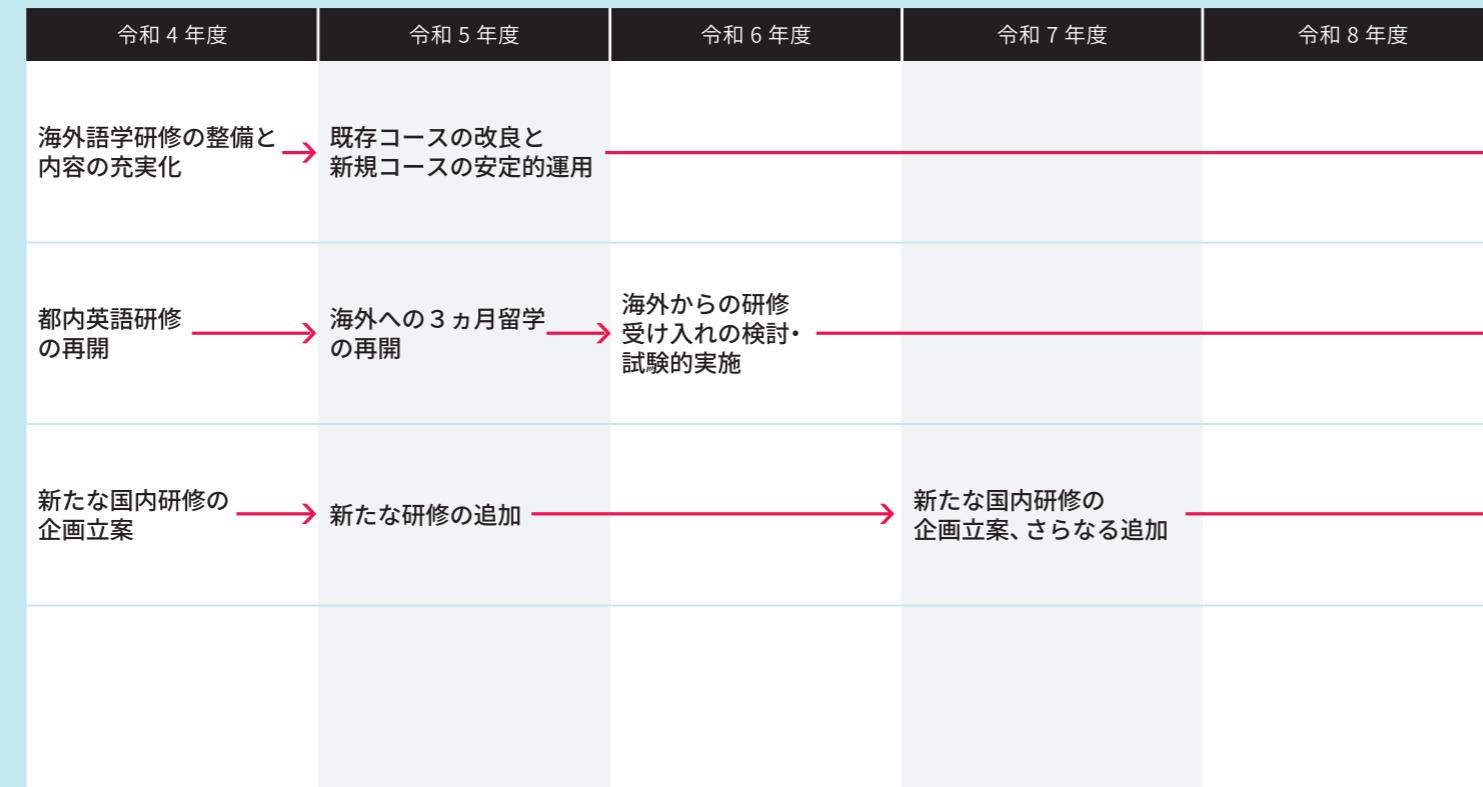
海外語学研修希望者を確実に受け入れられる体制づくりに努め、付加価値の高い研修に仕上げていく。そのために国際教育全体のプランニングを進め、関わる教職員の人材確保と育成を行い、長期的に安定した研修を構築していく。また、生徒の多様な興味に応える新たな国内研修を企画し、充実を図る。

現在の姿

[教育の質]生徒のニーズに応えた海外語学研修の充実や、国際理解を高める学習機会の拡大が求められている。フィールドワークなどの体験学習を通して、参加生徒が多様な文化を学び、さまざまなことを経験できるように、国内研修プログラムを充実させていく必要がある。

現在の指標

海外語学研修 参加希望者 262人	海外3ヵ月 留学参加者 6人
都内英語研修 参加者 29人	国内研修への 生徒参加率 50%



達成後の姿

[教育の質]多様なプログラムと充実した内容が、本校を代表する特色として生徒や社会に評価されている。国際交流や国際教育に関するプログラムを経験した生徒が、海外留学に挑戦する流れができる。海外からの研修希望者に対応できる制度が整い、国際教育の充実が図られている。生徒が国内研修で学んだ日本独自の文化に関して活発な議論を展開し、生徒自らが獲得した知見を外部に発信できるようになっている。

評価指標

海外語学研修参加希望者 300人	海外3ヵ月留学参加者 12人
都内英語研修参加者 60人以上	国内研修への生徒参加率 60%

戦略

4よりきめ細かい指導を可能にする、
ソフトとハードの環境整備

戦略達成のストーリー

防災と環境に配慮した新校舎建設により、地域社会への貢献とSDGsへの取り組みを行う。また、カリキュラムの再編と生徒のニーズに合った学習指導体制を構築。ICTスキルの向上を図るとともにオンライン授業を増やし、校内に限定されない自由度の高い教育を推進していく。クラブ活動では外部指導者やトレーナーを招聘し、活性化につなげる。

現在の姿

[教育の質]生徒が望む多様な進路に対応するため、より柔軟な対応が求められている。情報科以外の授業でもICT教育を推進する必要がある。
[学生生活支援]部活動向け外部施設や外部指導員の安定確保に課題を抱えている。
[学びの場]校舎老朽化による建て替えに向けた基本構想の構築が求められている。

現在の指標

学習面満足度 74%	外部施設確保 準備段階
生徒受信端末 タブレット使用率 35%	一般第3回入試 (3教科)志願者 180人



達成後の姿

[教育の質]多様な希望進路の実現と個人時間を考慮した新たなカリキュラムによって、生徒が望む進路の実現に貢献している。国公立大学受験にも十分対応できる教育内容が中学生や保護者等に認知され、その地位が確立している。

[学生生活支援]外部施設確保や外部指導員の導入が部活動の活発化を促し、生徒の主体性やリーダーシップを育んでいる。

[学びの場]防災や環境、生徒のニーズに合った新校舎の基本構想が決定し、着工している。

評価指標

学習面満足度 80%	外部施設確保 完了
生徒受信端末 タブレット使用率 100%	一般第3回入試 (5教科)志願者 300人

戦略

5

生徒および教職員が安心して過ごせる、 環境づくりと危機管理を意識した協力体制の強化

戦略達成のストーリー

安全・安心な学校生活を送るためにも、今後予想される災害や感染症の対策などについて、正確で有益な情報や物資を調達し、準備や工夫をしていく。また、外部の専門家等による研修やケアを受けられる体制を整え、教職員が安心して働くように環境を整備していく。

現在の姿

[教職員組織]教職員による生徒支援体制をより強固にするため、一人ひとりにチームワーク形成の意識付けが求められている。危機事象に対する組織としての内外対応や、教職員が働きやすさを実感できる環境と組織の整備が求められている。
[生徒・教職員支援]生徒や教職員が抱える課題への支援が必要となっている。

現在の指標

感染症等の危機事象への事前対策

準備段階

校内での研修実施回数

1回

オンライン授業体制

準備段階

教職員研修満足度アンケート

準備段階

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教職員間の協力体制強化				→
新型コロナウイルス 感染防止の徹底	→ 新型コロナウイルス 感染防止対策の検証・整備			→
H5型対策委員会 の設置	→ H5型に関する情報収集 および物資等の準備			→
情報セキュリティ・災害対策整備				→
メンタルヘルスケア 体制の構築	→ 女性カウンセラーの 導入も含めた体制強化			→
柔軟な就業形態・環境の推進				→

達成後の姿

[教職員組織]教職員同士の協力体制とチームワーク意識がより強固なものとなって、業務が円滑に進んでいる。危機管理体制が確立し、生徒および教職員へ安全で安心な環境が提供できている。安全で安心な環境の提供が、生徒や教職員の身体面・精神面を健康にし、良好な人間関係の構築にも貢献している。柔軟な就業形態・環境の提供によって、教職員が働きやすい職場だと感じ取れている。

評価指標

H5型対策の物資の調達

完了

校内での研修実施回数

3回

休校に備えた
オンライン授業の整備

完了

教職員研修満足度

70%以上

戦略

6

国学院高等学校の将来像共有と 中学生や保護者への発信

戦略達成のストーリー

教職員は、学校が進むべき方向性を職員会議などにおける校長からのメッセージや教科会議、分掌会議を通じて理解し、共有する。その共通意識を、教職員は学校説明会をはじめ、あらゆる募集活動の中で発信し、本校の教育を中学生・保護者に浸透させていく。

現在の姿

[生徒募集]中学生や保護者の来校機会を拡大させ、志願者の安定確保につなげていく必要がある。

[教職員組織]教職員が常に本校の価値や将来像を意識・共有し発信していく必要がある。

[教育の質]調査分析に基づいた結果を改善策として反映していく必要がある。

現在の指標

学校説明会参加者
3,880人

高校生活全般満足度
78%

文化祭来校者
8,500人

教職員に対する
校長講話の回数
12回

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
来校型イベントの再開と 新たな来校機会の拡大				→
卒業生対象学校満足度アンケートの ポートフォリオ分析・検証・改善				→
校長による将来像の周知徹底				→

達成後の姿

[生徒募集]中学生や保護者の訪問機会を的確なタイミングで提供し、来校者の増加が受験生の増加につながるという流れを維持している。

[教職員組織]教職員間で将来像の共有が日々積み上げられ、中学生や保護者に統一した内容で発信できていることが、本校の教育方針を理解した受験生の増加に貢献している。

[教育の質]アンケート結果分析が検証および改善策に反映され、高い満足感を持った卒業生の輩出に貢献している。

評価指標

学校説明会参加者
7,000人

高校生活全般満足度
90%

文化祭来校者
10,000人

教職員に対する
校長講話の回数
18回